

たばこ対策事業

【現状】

○健康寿命の延伸が最重要課題である。

→健康寿命：男性69.55歳（15位）・女性71.86歳（20位）
（平成22年度 厚労省研究班 20都市別健康寿命ランキング）

○悪性新生物が原因で死亡する人が多い。

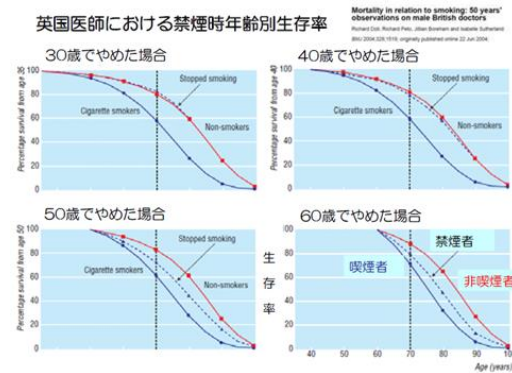
→本市と他都市を比較するための調整をかけた死亡率（標準化死亡比）で見ると、悪性新生物が原因の死亡が、全国よりもまた大阪府よりも本市が高い。

○肺がんの原因となる喫煙率が高い。

→働き世代である40歳代男性の喫煙率が20大都市別ランキングでワースト2位である（国民生活基礎調査(平成28年度)）

【たばこ対策実施の意義】

米国公衆衛生長官報告書の「禁煙による健康改善効果」



50歳までに禁煙すればその後15年間の死亡率が半減するとされており、40歳代で禁煙を行うことが有効とされている。

【取り組み内容】

禁煙支援

喫煙者が禁煙に取り組みやすい環境づくりを進めるため、多様な医療従事者に対して禁煙支援についての情報共有をテーマとした研修会等を開催する。

禁煙チャレンジ

保険医療機関で禁煙治療を受け、12週間にわたる計5回の禁煙治療を終了し、完全禁煙していると医師から署名を受けた書類を提出した30～50歳代の市民に、インセンティブを付与する。（1回限り）禁煙チャレンジ後は、堺市とともに禁煙サポーターとして啓発に協力していただく。



産業保健との連携

企業等の実務者会議で、従業員の喫煙についての課題を共有し、職場での禁煙支援を進めるための具体的な取り組みを検討する。